

標 題 : Mediterranean Diet and Prostate Cancer Risk and Mortality in the Health Professionals Follow-up Study
医療専門家追跡研究における地中海食事と前立腺癌のリスクおよび死亡率

著 者 : S. A. Kenfield, et al. (米国 ボストン ハーバード公衆衛生大学院 疫学科)

掲 載 誌 : Eur. J. Urol. 2014 May; 65(5): 887-894

要 旨 :

背 景 : 前立腺癌の死亡率は、北欧と比較して地中海沿岸諸国で低い。
地中海食事の特定成分が前立腺癌のリスクに影響する可能性があるが、進行性または致死性の前立腺癌の発症リスクまたは非転移性の前立腺癌と診断された男性の間での疾患進行について、伝統的な地中海食事パターンを評価した研究は少なかった。

目 的 : 伝統的な地中海食事が、進行性または致死性の前立腺癌の発症リスクおよび前立腺癌の男性の間での前立腺癌死亡率および総死亡率と関連するかどうかを判定すること。

計画、設定、および参加者 : 医療専門家追跡研究で 1986 年から 2010 年まで 47,867 人の男性を、我々は追跡研究した。
症例だけの解析には非転移性の前立腺癌と診断された 4538 人の男性が含まれ、診断から致命的な転帰または 2010 年 1 月まで追跡した。

転帰の測定および統計解析 : 我々は Cox 比例ハザードモデルを用いて、伝統的と代替の地中海食事スコアを前立腺癌の発症転帰（進行性と致死性の疾患）との関連で調べた。
症例だけの生存率分析では、非転移性と診断された男性の間で診断後の地中海食事と致死性（転移または前立腺癌死亡）と致命的な前立腺癌のリスク、および総死亡率を調べた。

結果および限界 : 1986 年から 2010 年の間に、6220 件の前立腺癌症例が確認された。
地中海食事は、進行性または致死性の前立腺癌のリスクと関連しなかった。
症例だけの解析で、診断後の地中海食事と致死性または致命的な前立腺癌のリスクとの間に関連がなかった。
しかし前立腺癌の診断後に地中海食事の順守が高い男性の間では、総死亡率の 22%低いリスクであった（ハザード比 : 0.78、95%信頼区間 0.67-0.90、 p (動向)=0.0007)。
代替スコアについても同様な関連を、我々は見出した。

結論： 高い地中海食事スコアは、進行性の前立腺癌または疾患進行のリスクと関連しなかった。
非転移性前立腺癌の診断後の地中海食事の高い順守は、低い総死亡率と関連した。

キーワード： 前立腺癌、リスク、死亡率、地中海食事、疫学
